

役員も労災保険に  
加入できる  
労働保険事務組合

# 社団 大森工場協会会報

法人

第31号  
平成5年1月1日  
発行 社団 大森工場協会  
編集委員会  
東京都大田区中央2-11-10  
TEL.03 (3771) 4744  
(3772) 6474  
印刷 城南印刷工芸(株)  
TEL.03 (3752) 3391

## 1993 迎春



### 新年に寄せて

(社)大森工場協会会長 木村吉男

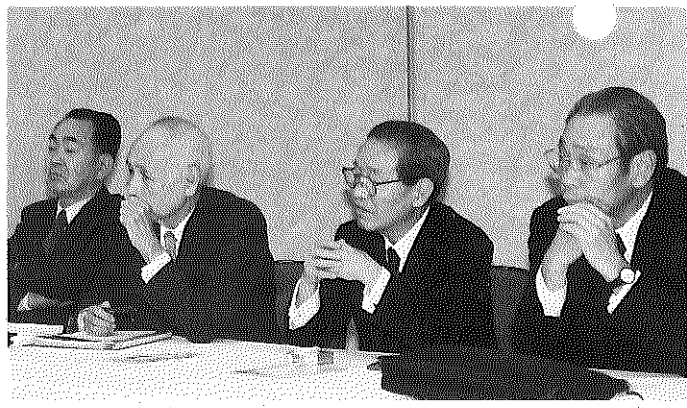
会員各位を初めとして、区当局、工連、友誼諸団体からきびしい年の中、寄せられました御厚志に深く感謝致します。本年もどうぞよろしく御願い申し上げます。

平成四年は不況風に明け不況のどん底を迎えた年でした。しかしこんな時こそ会員各位の連繋と密度の濃い作業内容により企業の周辺の整理を行い、基盤の整備をしっかりと身につける時ではないでしょうか。

平成も五年を迎えました。新しい時代の息吹きが感じられる時です。今まで培われた実績を基に大きな環境の変化に対応し、働く者が馬鹿を見ない工都大田の新時代を作るため頑張っていきたいと思っております。その為には協会も初心にかえって皆様のお役に立つ態勢造りに努力致し、新しい年が一步前進の踏み出しになります様、皆様の心からの応援をお願い致し、新年の御挨拶と致します。

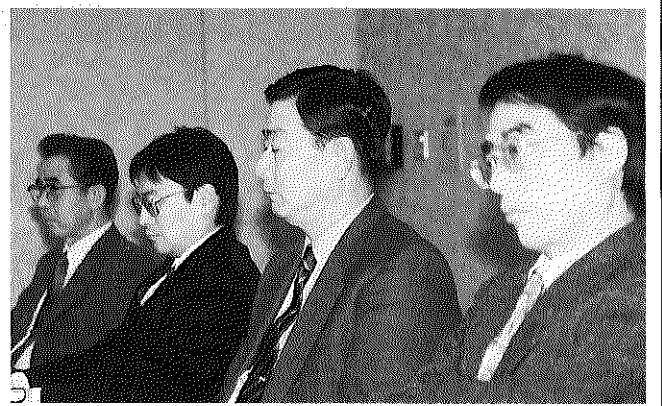
●写真提供●(有)今村製作所社長 今村鑽氏





今回の理事支部長研修会は特にテーマは設けず、木村会長を座長としてフリートークの形式で進行された。座長の「不況で明け、不況で暮れたこの1年ではあったが、活発な意見交換で締め括りたい」との挨拶で始まった。

最初に今年度最大の関心事であった中国人研修生問題が取り上げられ、実際に受け入れてみるの状況報告と今後



の留意点等が先ず話題になった。

### ○中国人研修生招聘 現在までの経過と今後について

技術的な点に関しては、ある程度の経験を積んだ者を選考したので、作業上の支障は殆ど無いといって良い。機械操作、仕事の連絡等は動作で何とか理解できるが日常の会話はかなり難しいようである。しかし言葉はわからなくても両国共通の文字を使用すれば大体の意味は通じる。

強いて言えば、習慣の違いで、特に昼食を日本人従業員と同じに仕出し弁当で賄っていたが、中国流の料理と異なる比較的冷えた食事をかなり気にする者もいた。今ではすっかり慣れたようだが…。

今後の問題として、折角来日して技術や工程管理、高稼働率や仕事への取り組み方を身に付けて帰国する研修生が将来その研修の成果を生かせるか、体制や国民性の違いの中にどう取り入れられていくのかが進んだ。

色々な発言の中で興味をひいたものは、中国では工作機械でもコンピュー

タでも、操作パネル等の文字を含めてすべて中国語に直して使っている。従ってローマ字が一切使われていないので、研修する場合に英語(ヨコモジ)が全然読めないことが、一番のネックになるのでは…との危惧の念が出たことであった。

わが国でもかつて戦時中は外国語の使用を禁じて、すべて日本語に当て嵌めて無理矢理使わせた時期があったが、外国排斥では無いにしても、現在の中国はすべて自国文字を使っており、この点だけでも、ある程度の知識を得るには、余程の勉強が必要だろう。

研修生の選考については、希望する職種、機械操作経験者を選ぶことは一応可能だが、機械の使い方が問題で、来日した場合に自社設備との適合性を充分考慮しなければならない。

尚、最近、研修期間も現行の1年から2年間にし、1年間研修の後、検定に合格すると2年目は実務に従事出来る様な法改正の動きがある。入管の煩雑な手続き等も、代行する正式機関の設立によって、従来に比較して非常にスムーズに行われる様になったとの報告があった。

研修生受け入れに関しては、大田区をはじめ東商や大田工連関係諸団体からもかなりの評価を得ており、今後も

平成4年度 / 理/事/支/部/長/研/修/会

景気・時短・従業員確保・中高年雇用をフリートークで

平成4年12月4日・大森東急イン

### ○景気低迷はまだ続くのか、その対策は…

も前向きに努力をつづけていきたい。去年と比較して道路が空いている感じ、トラックの荷積みが少なくなっているのが目立つ。仕事量が減っている証拠だ。

\*食品業界は好況の様に思われているが、一部低価格品は売れているが、高級品は不調である。設備投資が進んでいない。

\*受注量が減っている。在庫品の整理を始めた。在庫品は宝の山だ。これをどう生かすかを考えている。

\*急がしい時に出来なかつた仕事がある。しかし暇になつても納期に間に合わない。管理の方法を徹底的に考えるべき時期だと思ふ。

\*自動車関係に動きがある。聞いたが、実際は倉庫一杯の在庫だ。

取引先のメーカーで新工場の建設が中止になっているが、一年半を経過しても再開する気配がない。

話を聞いていると景気回復のメドは立ちそうもない。政情不安と景気下落が重なっては良くなる要素を見付けるのは困難だろう。

消費がのびないから新たな設備投資をしない、新たな設備をしないから生産が増えない、生産が増えなければ当然収入が減る、収入が減つたら物を買

設備投資をしないから我々工場に仕事が出来ない、少し無理なこじつけかも知れないが、前労働大臣が大企業に対して不況だ不況だとポナナスを減らさず、バブルで儲けた分を吐き出せといったが、その分では中小企業のオーナーも大企業の従業員も同じで親企業が適切な対策や仕事のわりふりを取ってくれる事が高度な工業集積地としての大田区工業を壊滅させない為にも望ましいと思われる。

### ○時短・中高年者の雇用などについて

商工会議所の小規模事業労働環境改善研究事業の委員を委嘱されたティヴィバルブ(株)の竹内社長から時短、中高年者の雇用・環境改善等について意見を求められた。

\*時短が社会的要請であり、必要性も判からぬではないが、賃金との兼ね合いが問題だ。

\*中高年者の受け入れについては、退

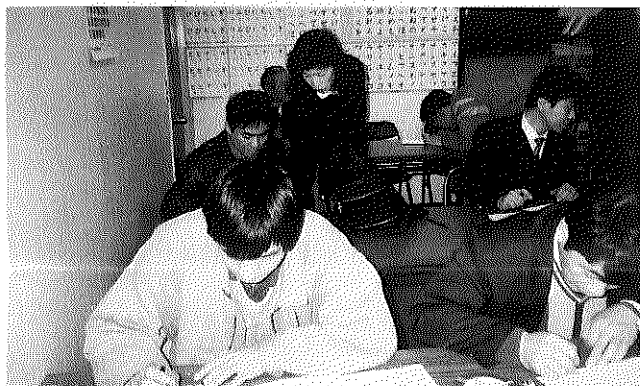
職時の給料をベースに考えるので、能力は落ちていても要求する額が高く、折り合わない。

\*能力はおなじでも体力的な衰えは如何ともし難く、机の上の仕事は兎も角として、現場の仕事には限界がある。

### ○環境改善については

ここ20年の教育の成果で物造りを喜びを教える教育をとの意見が出された。

最後に木村会長から工業高校の先生との懇談から工業高校の卒業生が現場へ出たがらない嘘のような傾向が見られたが、ここ2、3年工業への関心が高まっている。彼等は自分たちが役に立っているかどうかを一番気にしている。その点を考慮すれば充分働くとの話が披露された。時短にしても中高年の雇用の問題にしても若者の工業離れにしても、大企業と中小企業の賃金格差が大きくなった所に問題があり、大企業は適正な価格で中小企業に仕事をさせるような方向に向わなければならない。働いている正直者が馬鹿をみないような努力が必要だと結んだ。



▲年内最後の座学に励む研修生  
▼北京市機械工業管理局視察団一行来訪歓迎の挨拶をする入沢副会長 (12月12日)



# 中小企業頑張れ

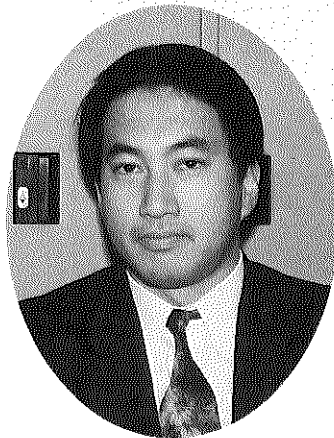
日刊工業新聞社 南東京支局 山本猛嗣

新春特別寄稿

## 新聞社にも不況風

山高ければ、谷深しとはよく言ったものだ。景気はほんの一握りの業界を除き、どん底の状態だ。大田区内の「小企業も相当悪いらしい。「らしい」といえば、なんとも無責任だが、新聞記者なんていうものは、そもそも無責任なものかもしれない。仕事柄、数多くの経営者に会って話を聞くが現在最もタイムリーな話題は矢張り景気の事。「社長！どうですか最近は」と記者が聞けば、案の定「いやー景気が悪くてどうしようもないよ」などという返事の後「では、あの件について」と取材が始まったりして、最早挨拶に近

い。なかには「景気はいつ頃回復するのかね」、「どんな業界が良いのか」などとかかなり突っ込んで聞いてくる経営者もいる。何十年も経済について研究しているエコノミスト達が予測しても難しいのに、入社してわずか数年の記者がわかる苦もないのだが、そんな時はいろんな経営者から聞いた話や、新聞、テレビで知った情報から勝手に判断して「まあ、九三年いっばいは難しいでしょう」などと偉そうに答えたりする。



一方、私の取材先にも変化が生じている。第一にハアデ、前向きなニュースが少な

の支居には入社して数年の新入記者と営業マンが、同局し、人材育成をはじめ営業面の支援や地元産業人との付き合いができるマネージメント能力に長けたベテランの記者が支局長として投入される(と思う)が、支局長や営業マンの顔色が全く異なる。こちらが呑気に「大変ですね」なんて言おうものなら、怒られてしまいそう。当局のボス(支局長)も足をケガして医者当分の間歩行を禁じられたのにもかかわらず、片足をひきずりながらクライアントを回っている。



## 産業会館で中国物産展

11月21～25日 カシミア製品・革製衣類・手袋・絹製品・書道用具・掛け軸・伝統工芸品などが展示即売された。特にウーロン茶が良く売れた。

「新聞社は結構いいんじゃない」と皮肉っぽくいわれることもあるが、広告収入で飯を喰っている新聞社やテレビなどのマスコミ業界も製造業以上に冷え切っている。私が在籍する南東京支局の状況を見ても、私が配属された九十年の時とは明らかに違う。日刊工業新聞社は日本全国に支社、支局があり、大抵

「新聞社は結構いいんじゃない」と皮肉っぽくいわれることもあるが、広告収入で飯を喰っている新聞社やテレビなどのマスコミ業界も製造業以上に冷え切っている。私が在籍する南東京支局の状況を見ても、私が配属された九十年の時とは明らかに違う。日刊工業新聞社は日本全国に支社、支局があり、大抵

不景気という冬を越えれば春  
大田区は々中小企業のメッカとい

## 中国人研修生 Q & A

**回答者** 大森工業協同組合研修事業部会長 舟久保利明氏

中国人研修生についての申し込み手続きの問い合わせを受けましたので、(株)昭和製作所社長・舟久保氏に回答を頂きました。詳細につきましては直接連絡をお願いします。

- ① 申込窓口は？  
大森工業協同組合研修事業部会
- ② 申込会社の資格等がありますか？  
大森工業協同組合及び大森工場協会のいずれにも加入している会社で、大森地区に本社若しくは事業所があること。
- ③ 申込時期と研修生が来日するまでの期間は？  
現況ににおいては、申込み締め切りは毎年9月末で来日は2月というで行なっています。
- ④ 募集人数等に制限がありますか？  
宿泊施設の関係で現時点では20名が限度です。
- ⑤ 職種や経験年数等を指定して採用する事ができますか？  
全く可能であります。できるなら、はじめての会社の場合に限り現地へ赴いて面接するのが最良と思われる。
- ⑥ 受け入れに対し、どのような準備(書類・設備)が必要ですか？  
現在JITCD(国際研修協会機構)という組織を通じて申請を行っており、その書式に基づいて書類を提出しますが、組合として申込み会社全員による数回の打合わせで済みます。
- ⑦ 研修内容について教えてください  
申込会社の各々の業種に基き、研修部会の指導のもとに作成します
- ⑧ 経費は？  
すべて含め250万(±50万円)位でした。
- ⑨ 実際に受け入れてみての率直な感想を聞かせてください  
遅刻欠勤早退は殆ど無く、全般的に勤勉でかつ日本の従業員とほぼ同等な技術を有しています。但し、日本語の会話が不十分なことと、1年間で帰国してしまうので、その点は予め了承していただきたいと思っています。

抱えながらも何とかやりくりしている。り取つても踏みつけても何度も生えてくるたくましさがある。再び不景気という長い冬を越えて春になれば、やがて新芽を吹き出すだろう。中小企業の経営者の皆さんは今が一番苦しい時かもしれないが(まるで人事の様で恐縮だが)、「草魂」で明るく、元気に不況の波を打ち砕いてもらいたい。経営者自身が落ち込んでしまっている、従業員

のせいかな、不景気になると「不況にあえぐ中小零細工場」などというテーマで、ライバル紙をはじめ新聞やテレビが決まって大田区を取り上げるほどだ。しかし、区内中小企業の経営者は一部は、大半が堅実で真面目な方々だ(少なくとも私の取材相手は)。人手不足や後継者難などという慢性的な問題点を

# 新春 アンケート

## 歴史上敬愛する人と 好きな言葉

### 会員の心の拠り所を探る

況の実態やその取り組み方を掲載することが出来たが、今回は、この情勢でしかも年末と重なるといふことであろうか。テーマの選択を間違ったことを反省している。

会報を発行するにあ

景気が低迷してその回復も後一年はかかるだろうとの予測も聞こえ、まだまだ予抱が続きそうな心配の工業界の現状。国外では東西冷戦も終わり地球的規模では平和が訪れたのかと思えるが、ユーゴやソマリアやカンボジアではいつ終わるとも知れない内戦が続く、国内に目を転じれば佐川問題で国会は国民には訳の分かりづらい空転をつづけている。長嶋茂雄の巨人軍監督就任と

貴花田・宮沢りえの婚約発表以外明るい話題にも乏しい一年であった。それならば、盛り上がり欠けた年の瀬に当協会加盟の経営者の心の寄りどころは何かと、会報新年号用に先人に何を学び、感銘したか々々をテーマにアンケートを企画した。残念ながら回答わずか15通であった。

前回の景気アンケートには112通の回答が寄せられ工業界の生の声として、不

#### ●歴史上で敬愛する人物は●

回答15通

- ◆徳川家康 3件
- \*同じ失敗は繰り返さない慎重さ
- \*苦勞の末に徳川300年の基礎を築いた
- \*時を待ち最後に笑った
- ◆坂本竜馬 2件
- \*先見性・実行力・明るい・腕が立つ
- \*発想・先見性・性格——見情にこだわらなく見えるが、人を引きつける人物像。現代日本に必要な人材
- ◆吉田茂 1件
- \*ダンディズム・決断力・ワンマンを通す
- ◆西郷隆盛 1件
- \*明治元勳
- ◆豊臣秀吉 1件
- \*その場その場の機転、用意周到さ
- ◆二宮尊徳 1件



## 優良従業員表彰式

平成4年11月23日(勤労感謝の日)  
於 大田区民プラザ

▲代表(株)太陽機械製作所 荻田雄一氏に協会表彰状を手渡す木村会長  
▼西野大田区長より入沢副会長に団体役員感謝状授与

▲大田工連表彰状を受ける代表ティヴィバル(株) 瀬端伸二氏

## 童門冬二氏の講演会開かる



『戦国武将・信長における経営戦略と意志決定』のテーマで歴史作家・童門冬二氏の講演会が12月17日に大田区産業会館で開かれた。戦国武将を現代の経営者に置き換えるなどどのような評価が下せるか、信長がどう自分の国(会社)を合理化・近代化・OA化していったか、どうやってマーケットの拡大を図ったか、部下への教育、歴史に学ぶ不況期の対応等盛り沢山でした。詳細については次号に掲載予定です。

- \*勤勉・勤勞
- ◆山中鹿之助1件
- \*憂きことのなおこの上に積れかし、限りある身の力試さん
- ◆諸葛亮 1件
- \*頭脳明晰にもかかわらず、信義に厚く、公私において裏表の無さ
- ◆イエス・キリスト 1件
- \*優しさ・愛(真実の)
- ◆マザーテレサ 1件
- \*信念と行動力と愛がある

#### ●経営上参考になった歴史上の人物は●

- ◆ある……8件 ◆ない……6件
- ◆無回答……1件
- ◎あると答えた理由は
- \*特定の誰ではなく、ケースバイケースで判断の参考になる
- \*鳴くまで待とうの忍耐
- \*日吉丸時代の秀吉、人に対する思いやり
- \*家康、粘り強く先の見通しがしつかりしている
- \*家康々鳴かずば 鳴くまで待とう ほととぎす 孤独と忍耐
- \*秀吉 2代目の育成が遅れた。
- 家康 短気の本性を隠して気長に振る舞った点
- \*対人関係での苦しみに悩み続けたが、その人の為だけを考えてと道が開かれた、結果は会社の為になり、自

#### ●好きな言葉・座右の銘は●

- \*過ぎたるはなお及ばざるがごとし (論語)
- \*敬天愛人
- \*運・鈍・根・(感)
- \*唯我独歩 平常心
- \*神は愛である(聖書より)
- \*今、青春真唯中
- \*治に居て乱を忘れず
- \*先手必勝、蟹は甲羅に合った穴を掘る
- \*和
- \*NEVER GIVE UP
- \*温故知新
- \*為せば成る
- 夢を具体化するために目標とし、行動することによって達成できる
- \*唯一心(恩師・法得先生)

## 新春 賀詞 交歓会

平成5年度 新春賀詞交歓会は、1月27日(水)大森東急インで例年通り記念講演会と併せて開催されます。会員各位には奥様ご同伴で新年を祝う初会合に、多数のご参加をお待ちして居ります。尚、今回は講師に、真言宗醍醐派総本山醍醐寺宗務総長・執行長の仲田順和権大僧正をお迎えして、新春にふさわしい有意義なお話を伺うことに致しました。何卒ご期待下さい。

- 日時 平成5年1月27日(水)  
講演会 午後5時30分開会(時間厳守)  
交歓会 午後7時頃 開宴
- 場所 大森東急イン 5階「飛鳥の間」
- 会費 1名¥7,000円  
但し奥様ご同伴の場合はお二人で ¥10,000円